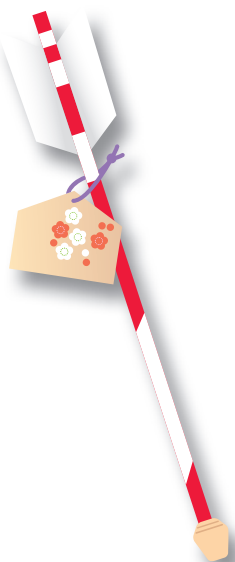


りゅうおう 議会だより

No.166
2014. 2. 1



矢に願いを込めた勸請縄
(小口・真氣神社)



おおよまぐい

今年も佳い年でありますように (山中・大山咋神社)



平成25年第4回定例会・第3回臨時会

・平成25年度補正予算、条例関係ほか	2~5
・第3回臨時会	6
・一般質問	7~11
時事往来	11
各委員会活動	12~14
いきいき人生 古株 甚之祐さん	14

第4回定例会 一般会計補正予算・請願等

平成25年第4回定例会は、12月5日より20日までの16日間開催されました。

提案された議案は、条例制定・改正11件、平成25年度一般・特別会計補正予算6件、平成25年度水道事業会計補正予算1件、動産の取得1件、指定管理者の指定についての議決10件、広域組合等解散・決算・規約の変更に伴う議決についての4件、請願1件および意見書3件で、全議案、原案どおり「可決・採択・認定」しました。

一般会計補正予算(第4号)

一般会計の補正予算は歳入歳出それぞれ7億116万4千円を減額し、歳入歳出総額をそれぞれ57億3900万4千円に改めるもので、主なものは下記の通りです。

主な意見として

債務負担行為補正の追加分で、5年間の指定管理業務が複数あるが、5年間の総額の予算計上となっている



ため、単年度の契約金額が分かりづらい。次年度以降について、適正に予算計上をされた

(全員賛成で可決)



重機による善光寺川の草刈り(河川愛護活動)

(単位 千円)

歳入補正予算の主なものは

社会資本整備総合交付金(竜王インター周辺整備事業)	△104,960
しが地域支え合いづくり促進事業補助金	5,000
子育て支援環境緊急整備事業費補助金	13,000
河川愛護活動事業委託金	2,278
前年度繰越金	28,339
竜王インター周辺地区整備協力金	△651,120

歳出補正予算の主なものは

臨時職員賃金	4,400
住民税税法改正システム対応業務委託料	5,184
町税過年度過納還付金	1,000
災害時要援護者支援システム整備業務委託料	1,167
災害時要援護者支援用備品	3,833
子ども・子育て支援新制度システム整備業務委託料	13,500
竜王インター周辺地区整備費(委託料)	△265,920
〃(工事請負費)	△694,340
〃(公有財産購入費)	193,192
災害対策基金積立金	15,000
人件費補正	△21,265

竜王町特別会計・企業会計補正予算の概要

(単位：千円)

会 計 名	当初予算額	既決予算総額	今回の補正予算額	予算総額
国民健康保険事業 (事業勘定)	1,058,200	1,059,019	101,912	1,160,931
	・一般被保険者療養給付費(負担金) 81,344千円の増額等			
国民健康保険事業 (施設勘定)	83,600	83,757	7,810	91,567
	・医科診療所外部改修工事 6,750千円の増額等			
学校給食事業	58,000	58,000	1,626	59,626
	・資材費 1,626千円の増額			
下水道事業	641,600	643,450	849	644,299
	・琵琶湖流域下水道事業負担金 400千円の増額等			
介護保険	695,800	699,604	67,846	767,450
	・居宅介護サービス給付費(負担金) 40,000千円の増額等			
水道事業(3条予算) 収益的支出	317,589	331,564	6,414	337,978
	・たな卸資産減耗費 6,000千円の増額等			

※上記の特別会計・企業会計(水道事業)は、すべて全員賛成で可決されました。

条例関係一覧

(上段：条例名 下段：主な内容)

制定または改正された条例	結果
・竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 「財団法人滋賀県教職員互助会」が「一般財団法人滋賀県教職員互助会」に移行したことに伴い条例中の引用箇所を改める。	可決
・竜王町災害対策基金条例 災害に対する迅速な対応および災害からの早期復興に係る事業の財源に充てるため、基金を設置する。	可決
・竜王町国民健康保険診療所条例の一部を改正する条例 指定管理者による管理、指定管理者が行う業務、利用料金の収受の項目を新設。	可決
・竜王町介護保険条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律に伴い、延滞金の割合について一部を改正する。	可決
・竜王町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律に伴い、延滞金の割合について一部を改正する。	可決
・竜王町農村下水道使用料条例の一部を改正する条例 消費税および地方消費税の税率改正に伴い、農村下水道使用料の算定に係る規定の改正。	可決
・竜王町下水道使用料条例の一部を改正する条例 消費税および地方消費税の税率改正に伴い、下水道使用料の算定に係る規定の改正。	可決
・竜王町公共下水道事業に係る受益者の負担に関する条例の一部を改正する条例 地方税法等の一部を改正する法律に伴い、延滞金の割合について一部を改正する。	可決
・竜王町給水条例の一部を改正する条例 消費税および地方消費税の税率改正に伴い、水道料金および加入金の算定に係る規定の改正。	可決
・竜王町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例 上位法である消防組織法の規定と整合を図るため、条例の一部を改正する。	可決
・竜王町公の施設における指定管理者の指定手続等に関する条例の一部を改正する条例 公募によらない指定管理者の候補者の選定、指定の期間について、条例の一部を改正する。	可決

※上記の条例は、すべて全員賛成で可決されました。

指定管理者の決定

(期間：平成26年4月1日から平成31年3月31日まで)

公の施設の名称	指定管理者となる団体
竜王町雪野山史跡広場「妹背の里」	公益財団法人竜王町地域振興事業団
竜王かがみの里	株式会社みらいパーク竜王
岡屋ふれあいプラザ	公益財団法人竜王町地域振興事業団
竜王町シルバーワークプラザ	公益社団法人竜王町シルバー人材センター
竜王町農村運動公園	公益財団法人竜王町地域振興事業団
交流促進施設「ふれあい広場」 産地形成促進施設「産地直売所」 農村水辺修景施設「エビス池公園」 公衆便所 農産物処理加工施設	株式会社みらいパーク竜王
竜王町農村環境改善センター	株式会社みらいパーク竜王
農村田園資料館	株式会社みらいパーク竜王
竜王町地域産業研修センター	公益財団法人竜王町地域振興事業団
竜王町総合運動公園	公益財団法人竜王町地域振興事業団

※上記の指定管理者の指定については、すべて全員賛成で可決されました。



竜王町雪野山史跡広場「妹背の里」



「竜王かがみの里」



岡屋ふれあいプラザ



竜王町シルバーワークプラザ

特別支援学校の「設置基準」策定を 求める請願書について審査

請願の主な内容

特別支援学校には、学校の「設置基準」がないことから、野洲養護学校は、県下最大の大規模校になっています。「設置基準」は、学校教育法第3条で、学校を設置する者は「設備、編成その他に関する設置基準に従い、これを設置しなければならぬ」と定められ、幼稚園から小中学校、高校、大学、各種学校まで、すべての学校に「設置基準」が定められています。

国に、特別支援学校の「設置基準」をつくるよう、県に特別支援学校の適正規模についての基準を明らかにし、適正規模の基準にそった増築を行うよう意見書を提出することを請願するものです。

委員からの意見

そもそも県立学校でありながら設置基準がないのはおかしい。近畿地区で滋賀県が大規模校の1、2位を占めている状況を考えると、早急に取り組むべきだ。特別支援教育が支援学校（養護学校）のみに依存することがないよう、小中学校や高等学校における実践に努めるべきだ。
（全員賛成で採択）



野洲養護学校（待機する送迎スクールバス）

「特別支援教育の 充実に関する 意見書」を県へ提出

提出理由

滋賀県立野洲養護学校は、児童生徒数が学校の収容能力を大きく上回っており、教職員数の不足などから子どもの目が行き届かず、命の問題には至っていないものの、多くの危険を抱えながら運営されています。また、トイレや体育館など諸施設の整備も児童生徒数の増加に追いつかず、教職員の駐車場も不足している状況で、もはや施設整備が待ったなしの事態にあります。

県は将来における特別支援教育の方向性を示すとともに、私たちは特別支援教育で学ぶ児童生徒の学習権と安全を保障する観点から、学校教育法の設置基準と同様に設置基準の検討を国に働きかけること、また

「自動車関係 諸税の簡素化 及び負担軽減を 求める意見書」 を国へ提出

提出理由

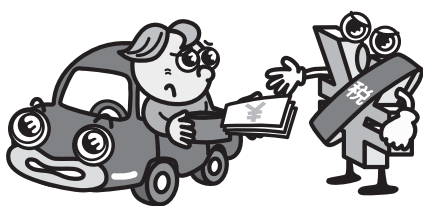
自動車関係諸税については、取得、保有また走行の各段階で何種類も複雑かつ過重に課されており、さらに消費税との二重課税問題もあり、自動車保有者の税負担は極めて重く、その簡素化や負担軽減が求められています。

自動車取得税の廃止に伴い、自動車保有者が毎年負

担する自動車税や軽自動車税等の保有税を増税することは、さらに自動車保有者の負担が増すこととなります。

※国へは、「特別支援学校の設置基準の策定等に関する意見書」を提出しました。
（全員賛成で可決）

特に、公共交通機関が少なく自動車が生計の交通手段として欠かせない地方においては、住民への影響は多大です。また、保有が困難になり自動車を手放す人がふえれば国内自動車産業の衰退が加速することになり、地方の雇用や経済への影響は甚大なものとなることが懸念されるため要望するものです。
（全員賛成で可決）



第3回 臨時会

10月16日に第3回臨時会が開催され、条例の一部改正1件、補正予算3件、工事請負契約の締結1件が上程されました。

◎**竜王町特別職の職員で常勤のものの給与および旅費に関する条例および竜王町職員の給与の特例に関する条例の一部を改正する条例**

竜王町水道事業における、上水道量水器が期限切れ状態となっているにもかかわらず改善することなく放置したことは、法令遵守を軽視した行為であり、町民皆様に対する信頼を著しく失墜させたことから、町長は3か月、副町長は2か月、それぞれ100分の10に相当する額を減じるため条例改正を行うものです。

(全員賛成で可決)

◎**竜王町一般会計補正予算(第3号)**

歳入歳出それぞれ8750万5千円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ64億4016万8千円とするも

のです。

補正の主な内容は、台風18号による被害に対する災害復旧に係る経費で、以下の復旧費です。

日野川から越水被害を受けた川守の梅ノ木地区周辺の道路や農地、農村運動広場および妹背の里等の土砂

撤去等の復旧工事、土砂の処分。日野川堤防の一部損壊に対する応急対応工事。

東川および足洗川における河川内に堆積した土砂の撤去工事。町職員の人件費等となっています。

(全員賛成で可決)

◎**竜王町国民健康保険事業特別会計(施設勘定)補正予算(第2号)**

台風18号により医科診療所施設の屋根の一部が破損したため、これの修繕に災害復旧費として10万円を追加し、医科の総額を歳入歳出それぞれ8375万7千円とするものです。

(全員賛成で可決)

◎**竜王町下水道事業特別会計補正予算(第2号)**

台風18号により、農業集落排水施設のマンホールポンプおよび制御盤が冠水し送水制御不能となり、その修繕に170万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ6

億4345万円とするものです。

(全員賛成で可決)

◎**工事請負契約の締結**

竜王IC周辺地区多機能グラウンド整備(放流管)工事請負契約の締結について、指名競争入札の結果、村井建設株式会社が金額7882万5千円で落札し、この請負契約を締結するものです。工事内容は、滋

賀竜王工業団地内における調整池整備に伴う放流管を先行設置するものです。この調整池は祖父川流域の洪水調整機能を有した施設であると同時に、住民の日常的なレクリエーションの場を提供することを目的に多機能グラウンドとして整備されます。なお平成26年3月24日完成となります。

(全員賛成で可決)



水没した農村運動公園



多機能グラウンド整備(放流管)工事

みなさんの声を町政に届けます

一 般 質 問

6議員が8問

- | | |
|---------------------------------|----------|
| ①全国学力学習状況調査について | 貴多 正幸 議員 |
| ②竜王町職員の給与カットにより生じた削減額の運用について | 小森 重剛 議員 |
| ③町道の区分に関する規則の運用について | 菱田 三男 議員 |
| ④ボランティア・町民活動センターの設置について | 内山 英作 議員 |
| ⑤日野川堤防の緊急総点検と補強について | 内山 英作 議員 |
| ⑥台風に備えての防災・減災の取り組みと避難体制のあり方について | 古株 克彦 議員 |
| ⑦E社の千葉工場爆発に関連して | 古株 克彦 議員 |
| ⑧今後の医科診療所の経営について | 山田 義明 議員 |

答

文部科学省は、
護者や地域住民に対しては保
明責任を果たすことが重要
である一方、調査により測
定できるのは、学力の特定
の一部分であり、学校教育

問

先曰、文部
科学省が全国
学力学習状況調査の結果
について、平成26年度か
ら市町の教育委員会の判
断で学校別成績を公表で
きると発表された。

当町においては、以前
から公表はされず、また、
結果について委員会等で
質問しても、「滋賀県平
均よりは上回っているま
す」との回答のみであつ
たが、次年度以降、公表
されるのかについて現段
階での執行部の考え方を
伺う。



貴多 正幸 議員

全国学力学習状況調査について

慎重に検討してまいりたいと考えています

活動の側面であることを
踏まえるとともに、序列化
や過度な競争が生じないよ
うにするなど教育上の効果
や影響等に十分に配慮する
ことが重要であるとしてい
ます。

そのうえで、「単に平均
正答数や平均正答率などの
数値のみの
公表は行わ
ず、調査結
果について
分析を行い、
その分析結
果や今後の
改善策も速
やかに示す
こと」とし
ています。

本町の場
合、公表に
当たっては
2小学校1
中学校であ



竜王中学校の授業風景

ること、調査母体となる児
童生徒数が少ないことなど
を十分に考慮のうえ、保護
者や町民の十分な理解と協
力が重要であると考えます
ので、教育委員会といたし
ましては、慎重に検討して
まいりたいと考えておりま
す。



小森 重剛 議員

問

竜王町においては、職員の給与をラスパイレズ指数が100となるようカット、特別職においては10%のカットを実施し、約2200万円の削減額が生じた。

その額を竜王町災害対策基金、職員の被服費（防災服）および竜王町立図書館の図書整備に運用するとの説明をつけた。

答

職員の給与カットによる削減額の使途については、竜王町災害対策基金条例を今定例会で提案し、平成25年度一般会計補正予算第4号の中で、竜王町災害対策基金に15

竜王町職員の給与カットにより
生じた削減額の運用について
防災等に資する事業を中心に検討しました

00万円、職員の防災服の整備に被服費として400万円を計上、また町立図書館の図書の充実を図ることに300万円を財政調整基金に積み立てることとしました。

災害対策基金の災害対策への考え方は、災害に対する迅速な対応や災害からの早期復興に係る事業に充てるよう、災害時における応急対策や復旧に加え、被災者、被災地への支援等の財源としま



台風18号災害現場（弓削地先）

また、今後の財源確保として、基金の積み立てについては、年度ごとの財政状況に照らしあわせながら、将来的に5000万円程度の基金残高を維持すること、年限については5年以内を目標とします。

問

町規則には「町道の区分に関する規則」があり、その目的は第1条に「道路法に基づく町道について、道路網の整備、拡充を図るため路線に区分をつけ、管理、構造、保全等をさだめ交通の発達に寄与し、公共の福祉を増進することを目的とする」とある。当町においては、この規則に基づき正しく運用されているのかを伺う。

答

現在、町道として114路線を認定しており、そのうち未供用路線が2路線、一部未供用路線が7路線となっており、未供用の路線については、将来における公共の福祉の増進と町の道路網の整備を図るうえで、重要な路



菱田 三男 議員

町道の区分に関する
規則の運用について
安全・安心の道路づくりに努めます

線でもあると認識しています。一方町内には、町道の他、高速自動車国道、一般国道、県道、農道や里道が存在しており、それぞれの道路管理者により維持管理されており、草刈等の道路環境整備については、地域の協力を得ているのが現状です。

町民が安全で安心して社会生活を送っていただける道路環境づくりに努めます。また、町道の路線区分については、道路網の整備や拡充を図り交通の発達に寄与し、公共の福祉の増進に資するものであることを再認識し、運用してまいります。

今後も、地域を取り巻く社会情勢の変化を捉え、人流や物流、災害時の移動を確保するセーフティネットとしての道路網整備と



通行止めの町道竜王中学校線

一般質問



内山 英作 議員

問

今では多くの市町村が「ボランティア・市民活動センター」を設置している。このような幅広い活動を「多くの人があたりまえのように参加できる社会とする」ために、ボランティアセンターが町民に信頼され、町民から見える組織体制の整備をし、名称も新たにしている内容の充実を図っていくことが大切であると思う。町当局の考えを伺う。

答

町民からボランティアセンターが見えないということですが、例えば看板を立てるというのも一つの方法です。

次に、ボランティアセンター機能の充実で場所については地域福祉計画の中では明示しておらず、現在とこのところ、福祉ステーションの1階のフロアは考えていません。また、現在のボランティアセンターの名称の改称については考えず、社会福祉協議会のボランティアセンターの中で、個人や団体の更なるボランティアの発展をめざし、地域づくりを進めていきます。



竜王町福祉ステーション（綾戸側から役場方面を望む）

ボランティア・市民活動センターの設置について

名称の改称は考えていません

問

台風18号による日野川沿川での被害は、特に、川守地先での越水による様々な施設の被害、弓削地先での堤防決壊寸前の損壊など、普段から対策をしておけば防げた場所が発生した。

ある学者は、「今後は強い台風が増える」、「同じ強さの台風でも雨量が増える」ということを言っておられる。今後毎年のように台風の襲来は考えられるので、被害を二度と起こさない対策を早急に取っていく必要がある。

答

日野川については、Aランク河川に分類されておりますが、整備までに相当な時間を要することから、当面の間、氾濫時の人的被害を回避するため、優先的に堤防の質的強化や氾濫流制御の対策を図る河川として、別にTランク河川に選定されています。

台風18号被害では、堤防法面の損壊や漏水の現象が確認されたことから護岸の状況、土砂の堆積状況等の再点検と堤防補



台風18号による日野川の増水（弓削地先、9月16日）

日野川堤防の緊急総点検と補強について

引き続き県へ要望します



古株 克彦 議員

問

今回の台風18号は町内各地に多くの被害をもたらした。次の2点について質問する。

- ①竜王大橋北側の竹木伐採計画のその後の経過について。
- ②災害時の避難体制、避難組織に対する今後の取り組みについて。

答

①滋賀県では平成20年度から「ふるさとの川づくり協働事業」が施策展開されています。県が実施する日野川・祖父川の竹木伐採区間は12km計画され、平成24年度末で約5.1km、43%の進捗状況です。竜王大橋北側の竹藪は、河川区域内の堤外民地で行政が独断で竹木等の伐採が行えません。今後も地元の

台風に備えて

防災・減災の取り組みについて

地域防災計画の見直し説明会を行います

協力を得ながら洪水等による災害の未然防止のため、県に竹木伐採の要望をしています。

- ②今回の台風18号において、初の避難勧告・避難指示を発令し、さらに特別警報が発令されました。

日野川・祖父川沿川の15自治会、1352世帯、4698名の避難対象者のうち、第2次避難所へ避難された住民は1228名に留まりました。新年1月8日から2



流水阻害が懸念される竹藪（竜王大橋より下流を望む）

月7日の間、町地域防災計画の見直し、地域の課題について町内各自治会・自主防災組織への説明会、意見交換会を実施します。

E社の千葉工場爆発に関連して

11月をもって閉鎖および事業を廃止されました

問

11月15日にE社の千葉リサイクルセンターで従業員2名が死亡し16名が重軽傷を負う事故が発生した関連で、竜王インター

周辺の関西支店に対して不安を抱く多くの住民がいる。今後の対応について質問すると同時に、「竜王町環境基本条例および環境基本計画検討委員会」のその後の進み具合を伺う。

答

E社の関西支店は11月末をもって閉鎖および事業を廃止するとの報告を関西支店長より受けています。今後の同施設と同敷地の活用については明確になっていないところから、次の5点の事項を申し入れています。

- ①事故の経過・原因および
 - ②当該地を売却する場合は事前に報告すること。
 - ③現在回収された廃油等は適正に処分すること。
 - ④閉鎖後の施設について適正管理を行うこと。
 - ⑤これらの状況について周辺自治会へ報告すること。
- 次に、「環境基本条例」の制定については、庁内検討委員会での検討を踏まえ、



閉鎖したE社の関西支店

一般質問



山田 義明 議員

問

県から派遣された医師が都合により退職されるため、町は医科診療所を指定管理制度の導入により公設民営とした後、民間医院として現在の地で医療業務を継続して行ってもらうこととされた。その経緯と民営化を図るうえでの問題点やその対応について伺う。

答

県よりの派遣医師が今年度末で退職されることとなり、引き続き県の担当部門にお願いしましたが、医師不足で困難な状況でした。今後の方策について県にアドバイスを求めたところ、近隣地域の自治体病院や地域の開業医から派遣などの方法を検討してはどうかとのことがありました。

今後の医科診療所の経営について

指定管理者制度導入で医療サービスを継続します

県内、国保医科診療所の開設状況、経営、運営の形態や対応について情報収集し、近隣でも実績のある指定管理者制度での運営について研究しました。一方、町南部地域の医療施設の必要性に加え、町内全域への往診、在宅訪問による地域医療への貢献について改めて認識したところです。

この度、条例の一部改正により指定管理者制度が導入できるよう途が開かれ、今日までと同様の安定した地域医療の



指定管理となる竜王町国民健康保険診療所

時事往来／議長の足跡から

福島県新地町と災害時相互応援に関する協定の締結

福島県新地町から加藤町長と担当職員が12月17日に来町され、竜王町からは竹山町長、蔵口議長など役職員が出席ものと、協定の調印がされました。

この協定により、地震などの大規模な災害が発生して、被害を受けた協定町が独自で応急処置などできない場合に、応援が円滑に行えるようになります。応援の種類には、必要な職員の派遣、生活必需品などの提供、被災者の援助や医療品などの提供、被災者の一時受け入れなどが定められており、協定の締結を機にお互いの絆がより一層深まりました。

蒲生スマートIC開通

東近江市木村町に自動料金收受システム専用の名神高速道路蒲生スマートインターチェンジが平成25年12月22日に開通しました。

県と西日本高速道路(株)が22億円を負担し、近隣住民や事業所の利便性、緊急医療活動の強化、産業の活性化、竜王ICの混雑緩和等を目的に名神八日市ICと竜王ICのほ



蒲生スマートIC開通式

設置されました。開通式には知事や竹山町長、蔵口議長をはじめ近隣市町の首長などが出席されました。今年度は1日2700台が見込まれています。

竜王から蒲生ICにかけての広域な活性化の起爆剤として期待されています。

各委員会活動

総務産業建設常任委員会

人事考課と職員体制について

平成24年度の人事考課は、全職員134名のうち、医師・歯科医師や他団体派遣(受入)職員等を除いた124名を対象職員として実施されました。考課期間は平成24年11月1日から平成25年1月11日までで、その後、考課者による考課を第1次、平成25年1月24日から28日、第2次、2月2日から11日に実施、考課者による本人面談を2月18日から22日に実施されました。

平成23年度においては、6名の職員が考課シート未提出でしたが、平成24年度では回収率

が100%となったことから、各所属長において積極的な制度の推進が図れた結果ではあるが、人事考課の精度を高める点では、考課者の研修等が必要であると人事担当では考察されています。

職員数の推移については、平成16年4月1日では148名の職員数であったが、自律推進計画や集中改革プランなどにより、平成25年4月1日現在では136名の職員数となっています。しかしながら、発達支援センターの開設や、平成26年度より開所予定の療育事業などをするには、臨床心理士などの専門職を雇用する必要がある、

また、職員の年齢構成に偏りがある現状を考慮すると、先を見た職員体制、配置の必要があるとの説明を受けました。

主な意見

平成26年度から本格実施とのことだが、現段階では考課なのか評価なのか明確ではない。職員個々の自己目標の設定、

定なり、地域貢献力度なども考慮し、前向きで竜王町らしい人事考課制度としていた、



開園を待つコスモス保育園

教育民生常任委員会

町からの報告事項

以下の3点について町から報告がありました。

①給食費負担金の改定について

給食の内容を落とさないという観点で、消費税増に伴い平成26年4月

から改定を行うものです。

幼稚園3歳児で年額200円、4・5歳児で年額1000円、小・中学校、給食センターで年額1100円の負担増となりました。

②雪野山古墳国史跡指定にかかる文化審議会答申について

雪野山古墳は4世紀初頭に作られた全長70メートルの前方後円墳で、竪穴式石室から棺内および棺外において三角縁神獣鏡等多くの副葬品が未盗掘のまま出土しました。石室内の状況から、当時の葬送儀礼を復元することができることから、平成25年11月15日に文化審議会が史跡の新指定について文部科学大臣に対して答申されました。今回の指定により、竜王町内初

の国史跡となります。
③夏休みラジオ体操の取り組みについて

各自治会に働きかけ、小学生だけでなく全世代で取り組む仕組みを行った結果、一定の成果が出ました。

現地調査

①社会福祉法人 育新会 コスモス保育園

建設地 竜王町大字七里878番地(竜王西小学校南隣)
敷地面積 3000㎡
工事費 1億4910万円

施工業者 株式会社 フジサワ建設

11月20日に完成後は什器を入れるのみで、4月開園に向けて園児受け入れの準備をされています。





改修工事中の中学校体育館

②竜王中学校体育館改修工事

事

請負金額 1億5855

万円

施工業者 株式会社 秋

村組

主な工事内容 屋根のカ
バーリング、内樋から外
樋に改修、窓枠改修、ア
リーナ・ステージの不陸
調整および研磨など内部
の様々な改修。

主な質疑応答

問

省エネ型照明はLED
になったのか。

答

LED照明になり直
接交換方式からリフ

問

ト式に変更になりました。
卒業式には間に合う
のか。

答

2月28日までの工期
契約になっており、
現在、工程表通りに工事が
進んでいます。

地域活性化特別委員会

町からの報告事項

(株)雪国まいたけの状況(過去
の不適正な会計処理)へ
の対応)について

11月18日、(株)雪国まいた
けの取締役管理本部長が来
町し報告のあった内容につ
いて説明を受けました。

(株)雪国まいたけでは、平
成25年6月に過去の会計処
理に関する疑義を指摘する
告発文を契機に、社内調査
を開始されました。8月27
日には証券取引等監視委員
会による立ち入り調査とと
もに、金融商品取引法第26
条に基づく報告が求められ
ました。その後、社内調査
委員会を設置し公正な調査
を行った結果から、不適正
な会計処理の実態、原因分
析および責任の所在を明確
にするともに再発防止策

の立案等が行われました。

(株)ワークマン竜王流通セン

ターについて

配送倉庫の屋根部に昭和
石油関連グループがソーラ
ーを設置されます。

平成26年7、8月に完成
する予定で、既に地元説明
会が行われました。

現地調査

滋賀竜王工業団地で現在
進められている以下の工事
について調査を行いました。
(1)竜王IC周辺地区溜池整
備(本体)工事について

工事目的・契約内容・工
事内容について説明を受け
ました。

12月13日現在の施工状況
は、放流塔工および放流管
工の施工中で、一部、張プ
ロック工に着手している状
態であり、約30、35%の進

捗率です。

委員からの意見

特に整地土工は大型ダン
プ1000台分の山土搬入
ということであるので、近
隣への配慮を怠らないよう
にすること。

(2)竜王IC周辺地区多機能
グラウンド(放流管)工

事について

工事目的・契約内容・工
事内容について説明を受け
ました。

12月13日現在の施工状況
は、祖父川に放流する箇所
において、放流管工を施工
中であり、約10%の進捗率
です。



滋賀竜王工業団地の現場視察

議会基本条例推進特別委員会

議会の議決事件について

平成23年5月2日に「地方自治法の一部を改正する法律」が公布され、総合計画基本構想の法的な策定義務がなくなり、策定および議会の議決を経るかどうかは町の独自の判断に委ねられることとなりました。

これは、地方自治法第96条第1項に定める議会の議決すべき事件15項目に加え、「前項に定めるものを除くほか、普通地方公共団体は、条例で普通地方公共団体に關する事件（法定受託事務に係るものを除く。）につき議会の議決すべきものを定めることができる。」という第96条第2項の規定を活用する必要があるという

ものです。

地方自治法改正に伴う総合計画の取り扱いについて、全国の市町村および近隣市町の取り組み状況を参考資料とし、町執行部側からも

竜王町総合計画等の策定根拠等について参考資料の提示を受け、議論しました。

今後は総合計画のほかにも議決権の拡大を図り、条例により議決すべき重要政策に位置づけられる事項がなくなっていくこととしました。

通年議会について

竜王町として現在、通年議会を導入するべき必要性も見えてこない現状にあることから、議会の会期を通年とするについて結論

を出すことは時期尚早であるとの意見が多くありました。

今後、時間をかけ先進地の実施状況等の調査研究を行い、導入によるメリット・デメリットなどを含めた具体的な検証を行う必要があるとの結論に達しました。

その他として、当委員会はこれまで様々な市町村の議会基本条例やそれに伴う取り組みについて学んでいるところとす。

議会の監視機能のさらなる充実・強化を図り、議会が主導的・機動的に活動できるように、議会改革の成果や課題について学ぶことを目的に、1月20日に先進地である石川県津幡町議会への視察研修を実施することと決定しました。



シリーズ いきいき人生

小口在住 古株 甚之祐 さん

おぼ 憶えば専業農家か兼業かと非常に心を痛めた昭和三十六年代、計らずも生活状況がよく似た地元の素晴らしい先輩の方々より田畑を維持しつつ、自立企業の一員として仲間入りのお誘いを受け、以来五十有余年、土木建設業に精を出してきました。



冠句の染筆中

「株式会社 産建」…本当に長い年月仲間が生き生き、和氣藹藹の内に協同一致して事業遂行し得た事は、人生の財産として、少なからず自負いたすところです。幸いにして新進気鋭の後継者にも恵まれ、心おきなく現役卒業後は、我が家の主役三歳の孫とのふれ合いに、田畑の守りに、お寺さんへの奉仕等々、合間を見つけては、文芸趣味「冠句」に現を抜かしております。

向後は、家族の厄介者にならぬように、充分に心して、余生をゆつたりのんびりほどほどに過ごせたら合格だろうと思います。が、所詮かなわぬ夢でしょうか……

「余生の海 趣味を檣にして 詩を漕ぐ」

鏡水一

編集後記

委員の改選により、ほとんどが新たに広報委員となりました。研鑽を深め、読みやすい紙面づくりに努めてまいりますので、皆様方のご指導とご高配を賜りますようお願いいたします。

さて昨年は台風18号の襲来により、改めて自然の猛威を痛感したものです。町では地域の特性に合ったきめ細かな防災計画の改定が行われますが、議会としても町内の天井川など抜本改修や大規模地震に備えた道路架橋の整備など国土強靱化政策に財政措置も踏まえた要望活動を今後も続けてまいりたいと考えています。

また、「議会基本条例」制定により議会改革を進めて

議会広報特別委員会
委員長 西村 公作
副委員長 松浦 博
委員 竹山 兵司
岡山 富男
内山 英作
古株 克彦